

第26号 平成27年8月

ふらっと



<発行者>

東遠地区生活支援センター相談部

菊川市西方 4346-16

TEL 0537-35-2971

E-mail to-en-so@carol.ocn.ne.jp

今年の夏は、1日の最高気温が35℃以上になる、いわゆる「猛暑」が続いています。仕事や地域の行事等では、こまめな水分補給や身体を冷やしたりして熱中症の対策をしていきましょう。また、夏バテ予防のためにもバランスのとれた食生活、体調管理には十分気をつけて、残りの夏を楽しみましょう！

「ふらっと青年部」を開催しました！

「ふらっと青年部」は、成人の発達障がいをお持ちの方人付き合いが苦手な方・仲間が欲しいという方たちを対象に、フラットな気持ちでふらっと参加できる会です。

今回は、7月26日に東遠学園組合の毎年の恒例行事である掛川ロータリークラブふれあい広場に参加しました。当日の参加者は8名。平日は仕事をされている方、就労に向けて準備されている方と様々です。

当日は、30度を超える暑い日ではありましたが、参加者の皆さんは、汗をたくさんかきながらも、スイカ割りや乗馬等を楽しみ、ゲームの手伝いも行いました。

また、ふらっと青年部も回を重ねることで参加者同士がつながり、お互いの近況や趣味について話し合っている場面もみられました。

参加者からは、「暑かったけど楽しかった」「次回、いつ？何をやるの？」といった声も聞かれました。今後も継続して開催することで、ストレス発散の場や気の許せる仲間を広げる機会になればと思います。



～発達障がい者交流会に行ってきました～



先日、成人期の発達障がいを持つ方たちの交流会に参加してきました。参加者の皆さんは企業で就労をされている方もいれば、現在職業訓練に通っている方がいらっしゃいました。その中で特に印象的だった内容をご紹介します。

◎自分が多くの人と違うと感じることは？

Aさん：仕事の際に周囲の人より段取りが悪いとわかってきた。一度に2～3の作業を同時に行うと、どれを優先すべきかわからなくなり、後回しになってしまい結局遅れてしまう。また、どこかしらが抜けてしまい、間違えてしまうことが増える。

Bさん：小学生の頃から集団生活でみんなよりもワテンポ反応が遅くなってしまっていた。人から何か伝えられると、ものすごく考えないと理解できずに固まってしまっていた。本当はもっとゆっくりやりたかった。

Cさん：仕事をする上で、状況によってやることを変えなければならないことがあるが、その判断が難しい。例えば、前はきっちりやって認められた仕事が、次の時は急ぐ仕事になっていて、きっちりよりも早くやることを優先しなくてはいけませんが、それに気づかず前回と同じようにやろうとしてしまい、周囲の判断と自分の判断がズレてしまう。そのことに後から教えられて気づく。

⇒そのことにどうやって対応しているか、もしくは対応してもらいたいのか。

Aさん：ひとつずつの仕事に具体的に締め切りを教えて欲しい。2～3の仕事の締め切りをまとめた形で教えられると迷ってしまうが、ひとつずつの締め切りが決まっていれば、それに向けては自分なりに合わせられる。例えば、夏休みの宿題とかも、一週間ごとに1教科とかだとやりやすい。今は人に聞くようにしている。出来れば紙面にしてほしい。

Bさん：指示を理解するまでに時間がかかる。口頭での指示は紙面にしてもらえれば何度も確認していける。

Cさん：その時は何をポイントに成功を目指せばいいのか聞くようにしている。自分と周囲の人とずれてしまうことがあると経験したことで、自分の考えが必ずしも合わないこともあると知った。

今回参加された方たちは、学齢期に周囲の人とのずれを感じながらも、学齢期を終え、その後に社会で働くようになってからご自身の発達特性を知った方たちでした。生活の中で感じていることなど、実際の話や聞く中で、今関わっている子どもたちに接する際のヒントがたくさんありました。今後もこういった交流会を通じて、当事者が必要としていることを話し合っていければと思います。

～相談件数～(平成27年4月～7月)

	掛川市	菊川市	御前崎市	森町	圏域外	合計
ケア会議	23	9	12	5	3	52
電話	91	47	54	15	6	213
訪問	70	77	35	36	5	223
来所	17	11	15	11	1	55
合計	201	144	116	67	15	543

ご相談ください！

暮らしのこと、福祉サービスのこと、仕事のこと、学校のこと etc …気軽にご相談ください。

東遠地区生活支援センター

相談専用 TEL 0537-35-2971

Eメール to-en-so@carol.ocn.ne.jp